



凡例

- 本マップ対象範囲
- 浸水実績
※：近年における主要な浸水実績 (H20.8.28、H26.10.6) の範囲を示す。なお、点線で示した箇所は、正確な範囲が不明な浸水箇所を示す。

指定緊急避難場所

- 第一指定避難所 (地区・校区市民館)
- 第二指定避難所 (学校などの公共施設等)
※第一指定避難所が収容能力を超えた場合などに開設する避難施設
- 市役所
- 地下施設・アンダーパス
- 警察署・交番
- 消防署

浸水深の目安

★浸水深とは
浸水した場合に想定される
地面から水面までの深さ

- 3.0m以上
- 3.0m
- 1.0~3.0m未満の区域
- 1.0m
- 0.5~1.0m未満の区域
- 0.5m
- 0.3~0.5m未満の区域
- ~0.3m未満の区域

注) 豊橋市では、放流先河川の能力に応じて、おおむね1時間雨量47.4mmの雨に対応できるように市街地の下水道の整備を順次進めています。ただし、この内水ハザードマップでは、中部地方において「想定し得る最大規模の降雨」である時間最大147mmの雨(おおむね1000年に1回程度の雨)が降った時に生じる最大の浸水深を示しています。また、表示されている浸水深は、周辺の道路地盤の平均値を基準としており、局地的な窪地の状況や宅地が盛土されている状況等は反映しておりません。